

がん診療連携についての説明と同意書

近年、がん医療は高度に細分化されてきており、ひとつの医療機関ではがんに関する医療の全てを行うことが難しくなっています。また同時に医療機関も、治療の臨床試験を行う医療機関、標準的ながん治療を行う医療機関、再発チェックを行う医療機関、再発治療を行う医療機関、さらに血圧や糖尿病など全身管理を行う医療機関など、専門性が高くなるとともに役割の分化も進んでいます。

このことから、一人の患者さんに対し複数の医療機関が連携して治療にあたることで、がんの診断から治療、経過観察、緩和医療という一連の医療を、的確で負担の少ない最良の診療とすることができます。

栃木県も、どこの医療機関でもより良く標準的な治療を行うことを可能にするため、医療機関相互で緊密に連絡を取り合う「がん診療連携」を行っております。これは、がんの入院治療などを行った後は、治療の全体的な計画を立て、かかりつけ医と共同で診療していくことを基本としています。かかりつけ医がいない方など、がんの入院治療を行った医療機関の地域連携室や相談支援センターでご相談いただければ、皆様に適した地域の医療機関、または介護サービス事業者などを紹介させていただきます。

「がん診療連携」では、診療全体の質と安全を保つために、連携する医療機関等と治療に関して情報交換する必要があります。このことについてご理解いただき、がん診療連携について、ご協力くださるようお願いいたします。

年 月 日

栃木県立がんセンター 医師名 _____

同意書

栃木県立がんセンター病院長殿

上記の説明を受け、がん診療連携について十分に理解し納得しましたので、私の診療に関する情報を、連携医療機関等に提供することに同意します。

年 月 日

患者署名 _____

または

家族等署名 _____

(患者との関係：)